

日本実験言語学会 総会資料

日時：2011年9月2日（金）17:30～18:00

場所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター2階 T202号室

1. 総務報告 会員異動状況

会員の種別	会員数		増減数
	2010年度末 2011年3月31日	2011年度 2011年8月31日現在	
正会員 (うち学生)	89 (27)	80 (21)	▲9 (▲6)
賛助会員	3	3	0
合計	92	83	▲9

2. 2010年度事業報告

(1)第3回大会

日時：2010年8月26日（木）10:30～17:50

場所：専修大学神田キャンパス 7号館（大学院棟）

参加者：36名

プログラム：

10:30 開会の辞

10:40 <研究発表1>

10:40 日本語音声におけるテンポ小考 丸島 歩

11:30 日本語における吸気発声に関する一考察 渡辺和希

12:20～13:20 休憩

13:20 <講演>

日本語の促音と実験音韻論 窪菌晴夫（国立国語研究所）

14:20～14:40 コーヒーブレイク

14:40 <研究発表2>

14:40 音調群連鎖におけるイントネーションパターンの分布 梅原秀利

15:30 俳句にみるプロソディ特徴と韻文のリズム 桐越 舞

16:20 韓国人日本語学習者における「ザ／ジャ」の識別における ERP 成分の
解釈 —MMN、N2b、P300 を指標として— 早川友里恵・丸島 歩・
桐越 舞・二ノ宮崇司・渡辺和希・福盛貴弘

17:10 閉会の辞

17:20～17:50 会員総会

18:20～20:30 懇親会

(2)学会誌の刊行

『実験音声学・言語学研究』(英文名 Research in Experimental Phonetics and Linguistics)

第3号 2011年3月24日予定

論文2点、書評2点

(3)役員会

第1回理事会報告

出席者：城生百太郎、池田潤、三浦弘、福盛貴弘、渡辺勉（委任状2名）

日時：2010年7月14日 17:00～18:00

場所：専修大学神田キャンパス 782教室

1)会員の異動、会計監査報告が行なわれた。

2)予算の審議が行なわれた。

3)第3回大会について詳細を検討した。

第2回理事会報告

出席者：城生百太郎、三浦弘、福盛貴弘（委任状2名）

日時：2011年3月28日 16:00～17:00

場所：大東文化大学大東文化会館 K-404

1)会員の異動、会計報告が行なわれた。

2)REPLの報告が行なわれた。

3)会費未納による除名者について検討した。

4)第4回大会について検討した。

編集委員会

出席者：島田武（委員長）、菅井康祐、高慧禎、福盛貴弘

日時：適宜

場所：メール会議

1)第3回大会に関して、匿名査読（2名）の結果、発表者5件が採択された。

2)REPLに関して、論文2件の応募があり、匿名査読（2名）の結果、論文2件が採択された。書評2件は依頼原稿である。

(4)その他

JELS 通信 No.5～10 を会員に送信した。

3. 2010 年度決算報告

	項目	金額	備考
収入	前年度繰越金	82,467	
	正会員会費	74,000	37 名分
	寄付金	0	
	入会金	10,000	10 名分
	大会参加費等	13,000	参加費 4 名、出店料 1 件
	計	179,467	

	項目	金額	備考
支出	大会運営費	56,943	お茶・お菓子等
	広告費	10,092	ポスター作成
	郵送費	22,250	案内状送料
	人件費	32,000	バイト代
	消耗品費	3,502	領収書、封筒など
	印刷費	0	資料の当日増刷分
	予備費	10,315	査読料
	繰越金	44,365	2011 年度へ繰り越し
	計	179,467	

4. 2011 年度事業計画

(1)第 4 回大会開催

日時：2011 年 9 月 2 日（金）13:00～17:20

場所：室蘭工業大学 地域共同研究開発センター2 階 T202 号室

パネルディスカッション：21 世紀コンピュータ言語学 パネリスト 3 名
口頭発表 2 件

(2)学会誌の刊行

『実験音声学・言語学研究』第 4 号を刊行する。

原稿締め切り 9 月末日。

5. 2011 年度予算案

収入

項目	金額	備考
会費	70,000	(正会員 35 名分)
寄付	0	
大会参加費	0	
前年度繰越金	44,365	
計	114,365	

支出

項目	金額	備考
大会運営費	15,000	
広告費	15,000	(ポスター作成)
郵送費	25,000	
人件費	40,000	(バイト代、査読料)
消耗品費	5,000	
印刷費	3,000	
予備費	11,365	
計	114,365	

6. 役員改選について

6. 1. 役員の任期について

現役員の任期を2008年8月29日～2012年8月28日とする。

以降の役員の任期は以下のように定める。

任期開始日は改選年度の8月29日、任期満了日は開始日から4年後の8月28日とする。

6. 2. 選出規則・細則について

<役員等選出規則>

第1条 本規則は、日本実験言語学会（以下、学会）定款第15条に基づく、本学会の役員等選出にかかわる諸規則を定めたものである。

第2条 会長および副会長は、理事会の互選により選出され、総会の承認を得た者とする。

第3条 理事は、会員の互選によって選出され、総会の承認を得た者とする。選出の方法は以下のとおりである。

2 会長は副会長と合議の上、理事候補者を理事会に提案する。理事候補者は正会員の直接投票による信任投票を受けなければならない。投票総数の半数以上の信任をもって選出される。

3 理事候補者を信任しない場合、候補者の半数未満の人数に限り、会員の中より自由記述することができる。

4 理事候補者が不信任となった場合、自由記述の最高得票者を選出する。

第4条 事務局長は、会員の中から会長の推薦を受け、理事会の承認を得た者とする。事務局長は、在任期間中は理事となる。

第5条 会計は、理事の中より会長が委嘱し、理事会の承認を得た者とする。

第6条 監事は、理事以外の会員の中より会長が委嘱し、総会の承認を得た者とする。

第7条 各種(編集、広報)委員会の委員長は、理事会の推薦を受け、総会の承認を得た者とする。

2 各種委員会の委員は、委員長の推薦を受け、理事会の承認を得た者とする。

第 8 条 選挙管理委員会の委員長は会長をもってこれに当てる

2 選挙管理委員は、理事以外の会員の中より会長が 2 名委嘱し、理事会の承認を得た者とする。

<役員等選出細則>

投票方法

- 1.選挙管理委員会から候補者の氏名が記されたテキストファイルが送られる。
- 2.信任する者の氏名を残し、不信任の候補者の氏名は削除する。
- 3.候補者の半数未満の人数に限り、不信任とした人数分、会員の中から適任者を自由に記入できる。

投票方法細則

- 1.投票はメールを用いて行なう。
- 2.投票はメール本文ではなく、テキストファイルを添付して行なう。
- 3.添付するテキストファイルには、投票者の情報を記入しない。
- 4.本文に投票者の氏名を記入する。
- 5.投票先は選挙管理委員会が定めるアドレスとなる。

無効となる場合

- 1.メールによらない場合。
- 2.本文に投票内容が記入された場合。
- 3.テキストファイルに投票者の情報が記入されている場合。
- 4.所定のアドレス以外に送付された場合。
- 5.候補者の半数未満を超える人数の自由記述があった場合、全ての自由記述を無効とする。
- 6.同一個人からの複数投票については、最初に送られた投票のみ有効とし、それ以降に送られたものは無効とする。

7. 編集委員会より

- 1)REPL に採択された会員の中で希望者にのみ pdf ファイル入りの CD-R を作成する。作成費用および郵送料は希望者負担。CD-R には誌名、学会名を明記し、会長名義で学会印が押印された採択証明書を付与する。紙媒体の冊子は応相談。
- 2)公開論文にパスワードをかける。
論文のみ。研究ノート、パネルディスカッション、書評などにはかけない。
適用は REPL4 号からとする。パスワードは会員にのみ JELS 通信で連絡する。
パスワードの解除は 1 年後とする。

編集後記

例年になく厳しかった冬がようやく去りつつあり、春の気配が少しずつ濃くなってきたこの頃、『実験音声学・言語学研究』第4号をお届けできることとなりました。今号には、論文2編と研究ノート1編と書評論文が1編寄稿されています。

まず丸島論文では音声知覚時における音声の速度変化と速度感について考察されています。音声がかたかたと速度を変化させながら脳内に入力される時、どのように脳が反応しているのかを考えるきっかけとなる論考です。

続いて桐越論文では、俳句を読み上げるとき、どこにポーズを入れないのか、という点に着目して韻文のリズムを考察しています。いわゆる「五七五」という形式とは異なる視点から見た俳句音声の世界があります。

さらに、早川・福盛論文では、競技かるたの詠みの音声の音響的特徴を考察し、通常発話の音響的特徴との違いを、F1、F2、F3を用いた分析によって明らかにしています。現在TVで放映中の大河ドラマ『平清盛』やテレビアニメ『ちはやふる』などで実際の詠み方に触れることができます。

最後に、三浦論文では、城生佰太郎・福盛貴弘・斎藤純男編著(2011)『音声学基本事典』の書評がなされており、「読むための事典である。否、是非とも通読してもらいたい本」と評されています。

ご高覧いただければ幸いに存じます。

(T. S.)

実験音声学・言語学研究 (Research in Experimental Phonetics and Linguistics) 第4号

発行者：日本実験言語学会

305-8571 つくば市天王台1-1-1 筑波大学文芸・言語専攻内池田潤研究室気付

電話・ファクス 029-853-4410 jels@lingua.tsukuba.ac.jp

<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~ippan/JELS>

編集委員：島田武 (編集委員長)、福盛貴弘、菅井康祐、高慧禎

2012年3月24日刊行

ISSN 1883-6763